

福岡市環境教育・学習計画（第三次）に係る市民意見募集の結果について

1 実施の趣旨

「福岡市環境教育・学習計画（第三次）」の策定にあたり、広く市民の意見を反映させるため、原案の内容を公表し、市民意見の募集を行いました。

2 実施方法

(1) 期間

平成 27 年 7 月 8 日(水) ～ 平成 27 年 8 月 7 日 (金)

(2) 閲覧・配布場所

環境局環境政策課，情報公開室，情報プラザ，各区役所情報コーナー・出張所，まもる一む福岡（福岡市保健環境学習室）

(3) 意見提出方法

窓口提出，郵送，ファックス，電子メール

(4) 市民意見募集の周知方法

市政だより，福岡市ホームページ，概要版の送付，イベント等での周知

3 意見提出状況と概要

(1) 意見の提出状況

意見提出数 23 通

意見の件数 117 件

<内訳>

① 計画全体に関する意見	13 件
② 「第 1 章 計画の策定にあたって」に関する意見	8 件
③ 「第 2 章 環境教育・学習の取組みの視点」に関する意見	18 件
④ 「第 3 章 各主体の関係と現状・課題，そして 10 年後の姿」に関する意見	37 件
⑤ 「第 4 章 福岡市(行政)の施策の展開」に関する意見	27 件
⑥ 「第 5 章 環境教育・学習の着実な歩みを進めるために」に関する意見	14 件

(2) 意見の概要

主な意見は裏面のとおり

4 意見への対応(案)

※意見対応の詳細及び修正の反映状況については別添のとおり

①意見を踏まえ修正

16 件

②原案どおり

101 件

〔内訳

・対応しないもの

31 件

・同様の趣旨について記載済みのもの

14 件

・個別の施策の中で検討するもの

56 件

< 主な意見 >

計画全体に関する意見

- ・環境局にはアイデアをもっと活かしてほしいし、可能な限り協力していきたい。
- ・環境に対する取り組みは「楽しく」やることが重要。

「第1章 計画の策定にあたって」に関する意見

- ・計画策定の趣旨について、環境政策に関する大まかな流れが書いてあるが、「環境教育・学習」という視点から見たときに、どのような背景があつて、どのような問題意識をもって見直しに至ったのかといったことも少し書いてよいのではないかと。(※修正)
- ・環境＝「いのち」をキーワードによりよい環境づくりが必要ということを、すべての市民が気づき、貢献できるように、すべての世代の市民向け環境教育計画を策定すべき。
- ・環境教育・学習の意義について「いのち」という観点から説明しているが、E S Dとのつながりが分かりづらい。(※修正)

「第2章 環境教育・学習の取り組みの視点」に関する意見

- ・環境保全・創造に向けた「人づくり」では、感性を持った人を育てることが第1番。
- ・「地域づくり」には、地域の様々な課題を解決することに加え、様々な主体が連携することで地域のより良い環境を創造することも含まれると理解できる。そうであれば、「環境問題」・「解決する」という表現はやや範囲が狭いように感じる。(※修正)

「第3章 各主体の関係と現状・課題、そして10年後の姿」に関する意見

- ・「学ぶ」「ふるまう」「行う」「つなぐ」というステップはとてもわかりやすい。
- ・市民団体の中には、高齢者が中心になって活動している団体も多くあり、若手の人材が特に不足していることを記載する必要がある。(※修正)
- ・幼稚園や保育園(所)の主體的な取り組みについて考察しないといけないのではないかと。小学校・中学校について「学校全体の環境への関心・取り組みの風土を醸成することが欠かせません」とあるが、これは幼稚園・保育園(所)にも共通することであると思う。(※修正)
- ・教員ではなく教職員という文言に変えてほしい。教職員という文言になると教員以外の学校現場で働く職員も協力しやすくなる。(※修正)
- ・事業者については、ビジネスと結びついた環境活動でなければ実感が伴わない現状がうかがえる。企業の社会的責任の自覚を促す取り組みが必要である。
- ・情報の発信・共有に当たってはあらゆる世代にきめ細やかに対応し、また、情報の内容によってはターゲットとなる年代を絞った発信方法を考えるなど、戦略的に実施していただきたい。
- ・人材は多く存在すると思われるが、その活用が適切ではない。(※修正)

「第4章 福岡市(行政)の施策の展開」に関する意見

- ・市民が気軽に参加できるよう、どのような団体がいつ、どこで、どのような活動をしているのかわかりやすく、全体に知らせる事が大切。
- ・適切なタイミングで情報発信していただきたい。(※修正)
- ・官民一体の取り組みをもっと広めてほしい。

「第5章 環境教育・学習の着実な歩みを進めるために」に関する意見

- ・市の専門機関で定期的に報告や見直しを行うだけでなく、大小様々な事業等を実施する中で、新たな課題やニーズなどを敏感に察知しながら、常に改善を図る意識を持ち取り組みを進めていただきたい。(※修正)
- ・10年後のめざす姿だけでなく、いまずぐできる行動プランと長期的に検討するプラン、あるいは5年後の中間目標を定めるなどが必要では。(※修正)